

# これが札幌 新まちづくり計画!

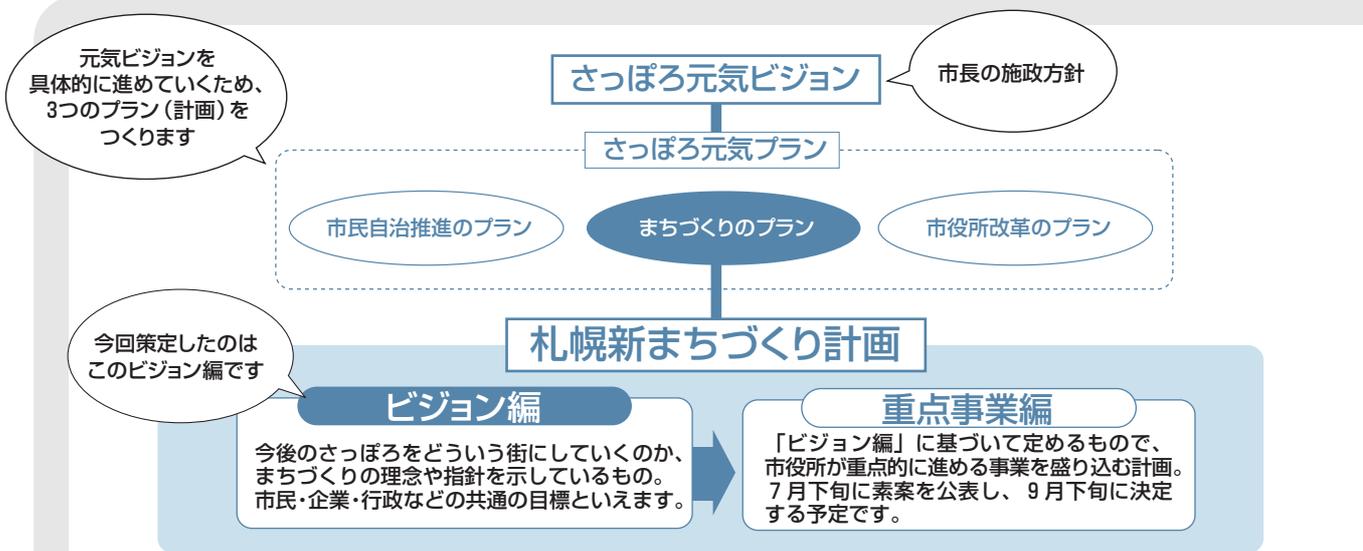
ビジョン編

～市民とともに3年後の札幌を描きました～

今後のまちづくりの考え方や重点的に進めるべき施策などを定める「札幌新まちづくり計画」の「ビジョン編」を策定しました。まちづくりは、行政だけでできるものではありません。その街に住む市民・企業等と行政が一体となってつくり上げていくものです。

「ビジョン編」には、市民の皆さんの思いが込められています。

今回は、その概要をご紹介します。



## 「札幌新まちづくり計画」とは

施政方針「さっぽろ元気ビジョン」を実現していくための「まちづくりのプラン」です。「札幌新まちづくり計画」は、「ビジョン編」と「重点事業編」の2編で構成。今回策定した「ビジョン編」には、まちづくりの理念や指針が示されています。計画期間は平成16年度から18年度までの3年間です。

## まちづくりの 主役は市民

「札幌新まちづくり計画ビジョン編」は、市民とともに考えたまちづくりのプランです。

市民の視点でどういう街にすべきかを考え、それに基づいて、市民・企業・行政などそれぞれに期待される役割を明記しています。それぞれが役割を果たすことで、今後の住みよいまちづくりにつなげていこうというものです。

## このようにしてつくられました

### 1 「新まちづくり計画市民会議」を設置して市民議論を行いました

公募の市民委員10人を含む計24人の委員が、22回の会議を経てまとめた提言を踏まえて策定しました。

### 2 アンケートやインターネットなどを活用して、市民意見を募りました

総計2,000件余りの意見をいただき、素案の検討や市民会議での議論に活用しました。

### 3 「さっぽろまちづくりトーク」を開催し、市長と有職者との座談会や、市民との意見交換を行いました

市民と一緒に考えるために昨年11月25日に開催し、約200人の市民が参加しました。

